

教科 Subject	技術・家庭科		科目 Course	技術分野	学年 Grade	1	単位数 Credits	3	
教科書 Textbook	新しい技術・家庭/技術分野(東京書籍)			副教材Additional Text /materials					
科目の目標 Course Objectives		生活に必要な基礎的な知識と技術を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。							
評価の基準 Assessment Standards		テスト62.5%、提出物・授業態度37.5%							
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents	到達目標 Students will be able to ~					
1 学期	4	1	生物育成に関する技術	植物・動物、それぞれの育成技術の特徴を理解することができる。					
		2	・ 生物育成ガイダンス						
		3	・ 植物育成の技術						
	5	4	・ 動物育成の技術						
		5	・ 水産生物育成の技術						
	6	6	・ 日本の伝統野菜						
	7	7	・ 育成作業の技術						
6	8	・ 生物育成技術の評価と活用							
	9	・ 生物育成技術の可能性と役割							
10	10	・ グループプレゼンと、まとめ【iPad】							
7	11	11	情報に関する技術						
	12	12	・ コンピュータと情報通信ネットワーク						
2 学期	9	13	情報に関する技術	情報技術に関する正しい知識を理解し、活用することができる。 機械に使われている部品や動力伝達のしくみについて理解することができる。 エネルギー変換とその利用について理解し、製作に利用することができる。					
		14	・ デジタル作品の設計と制作						
		15	・ プログラムによる計測と制御						
		16	・ 情報に関する技術の評価と活用						
	10	17	ポスターづくり						
		18	・ Keynoteなどを活用したポスターづくり						
	11	19	20		機器のしくみと保守点検				
		21	・ エネルギーの変換と利用						
		22	・ グループプレゼンと、まとめ【iPad】						
		23	(国別発電構成と考察)						
	12	24	・ エネルギー変換を利用した製作						
		25	(ダイナモラジオの製作)						
3 学期	1	27	材料と加工に関する技術						
		28	・ 材料と加工法						
		29	・ 製作品の設計と製作						
	2	30	材料に関する製作実習						
		31	・ 木製ペン立ての製作						
		32	・ 木製ペン立ての製作						
	3	33	動画制作の練習						
		34	・ CMづくりの練習						
		35	・ CMづくりの練習						

履修者へのメッセージ Message for Students

実技体験をもとに、考えながら問題解決をしていく教科です。よりよく生活をしていくために、生活と技術のかかわりについて知り、工夫した考えや行動ができるよう取り組みましょう。また、技術分野の学習は、数学・理科・社会の内容と関連があります。常に広い視野をもつことを意識し、学習を進めましょう。

教科 Subject	技術・家庭科		科目 Course	家庭分野	学年 Grade	2	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新しい技術・家庭／家庭分野(東京書籍)			副教材Additional Text /materials	新しい技術・家庭科 家庭分野 学習ノート／東京書籍			
科目の目標 Course Objectives			生活の自立を図り、生活をよりよくするための知識や技術を習得し、生きる力を身につける。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト60%、授業態度・提出物40%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	自己紹介			衣服と社会生活のかかわりを考え、衣服のはたらきや必要性を学ぶ。衣服の品質表示を見て、適切な手入れができる。衣服のデザインを行うことにより、TPOに合わせた衣服を選べるとともに個性の表現もできるようになる。洗剤のはたらきを知るとともに、自分で洗濯ができるようになる。 製作に必要な材料や道具を準備し、基本的な縫製技術を理解し、製作できる。ミシンの原理を知り、ミシンの基本的操作ができるようになる。 洋食・中華料理の1食分の献立を調理する。		
		2	わたしたちの衣生活					
		3						
	5	4						
		5						
6	7	7	私たちの衣服製作					
		8						
		9						
7	11	10						
		12	調理実習					
2 学期	9	13	わたしたちの食生活			食生活の自立のために生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事のかかわりについて知ることができる。栄養素の種類とはたらきを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考えることができる。1日の献立を考えることができる。 食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択することができる。さまざまな加工食品があることを知り、食問題に関心を持つ。各食品に合わせた保存方法を学び、実践できるようになる。 洋食・和食の1食分の献立を調理する。		
		14						
		15						
	10	16						
		17						
11	21	18	わたしたちの食品の選択と調理					
		19						
		20						
12	25	21						
		22	調理実習					
3 学期	1	23						
		24						
		25						
3 学期	2	26	わたしたちのより豊かな食生活			住居の基本的な機能について理解できる。日本各地の住まいとその特徴を知る。また、日本特有の住まいの特徴について知識を深める。生活行為と住空間の関係を理解する。健康で心地よく、家庭内で安全に住むための室内環境の条件を理解できる。 世界料理やパーティー食を作る。		
		27	わたしたちの生活と住まい					
		28						
	3	29						
		30						
3	34	31						
		32						
3	35	33						
		34	調理実習					
35								

履修者へのメッセージ Message for Students

調理実習や被服実習など、実習が多いです。安全に気をつけて、忘れ物をしないようにし、楽しんで授業に参加しましょう。また、1年間を通じて生活の基盤、衣食住について学習していきます。日常生活で実践できるようなことを中心に授業をしていくので、意欲的に授業に参加してください。

教科 Subject	技術・家庭科		科目 Course	技術分野	学年 Grade	3	単位数 Credits	0.5
教科書 Textbook	新しい技術・家庭／技術分野(東京書籍)			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			生活に必要な基礎的な知識と技術を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト62.5%、提出物・授業態度37.5%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents			到達目標 Students will be able to ~		
1 学期	4	1	情報			文書作成ソフトの復習・応用的機能を効果的に使うことができる。		
		2	・ ワープロ検定対策					
		3	(文書のレイアウト操作)					
	5	4	・ ワープロ検定対策			文書作成ソフトの復習・応用的機能を効果的に使うことができる。		
		5						
6	6	・ 表計算検定対策			表計算ソフトの復習・応用的機能を効果的に使うことができる。			
	7							
7	11	12						
2 学期	9	13	材料と加工			強度や見た目を意識し、適切な釘打ち位置をけがきすることができる。		
		14	・ 構想の検討、計画					
		15	・ けがき					
		16						
	10	17	・ 釘打ち			げんのうを真上から打ち込んだり、ひじと手首を効果的に動かしたりし、正確な釘打ちを行うことができる。		
18		・ やすりがけ						
11	19	・ ニスぬり			各部品の角をやすりがけし、丸みをもたせることができる。			
	20							各部品の面をやすりがけし、作品に温もりをもたせることができる。
12	21	・ 製作活動の振り返り			木目にそって、ニスぬりを行うことができる。			
	22							ニスを薄く均質にぬることができる。
23				完成したした作品を、チェック、修正を行うことができる。他者の作品を評価することができる。				
24								
3 学期	1	27	持続可能な社会のための技術			情報社会について理解する事ができる。		
		28	・ 情報社会					
		29						
	2	30	・ 環境を考えたものづくり			環境に配慮したこれからの技術について考えを持つ事ができる。		
		31						
	3	32	・ ワープロ検定対策					
33								
34								
35								

履修者へのメッセージ Message for Students

実技体験をもとに、考えながら問題解決をしていく教科です。よりよく生活をしていくために、生活と技術のかかわりについて知り、工夫した考えや行動ができるよう取り組みましょう。また、技術分野の学習は、数学・理科・社会の内容と関連があります。常に広い視野をもつことを意識し、学習を進めましょう。

教科 Subject	技術・家庭科		科目 Course	家庭分野	学年 Grade	3	単位数 Credits	0.5
教科書 Textbook	新しい技術・家庭／家庭分野(東京書籍)			副教材Additional Text /materials	新しい技術・家庭 家庭分野 学習ノート (東京書籍)			
科目の目標 Course Objectives		家族の関わりや自分の役割を認識し、よりよい家族関係を築くことができるようにする。 また、さまざまな消費者問題に関心を持ち、消費者としての自覚を持つ。						
評価の基準 Assessment Standards		テスト60% 授業態度・提出物40%						
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents	到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	わたしたちの成長と家族、地域 家族と地域の関わりを考えよう。	自分の成長や生活は、家族や周囲の人々に支えられてきたことに気づく。 家庭生活における、家族各々の役割を知り、よりよい家族関係を築くために必要なことは何か考える。 家庭生活は地域の人々に支えられていることに気づく 幼児にとっての家族のはたらきを知る。 幼児の遊びや食生活、衣生活について理解を深め、幼児の生活についての知識・理解を深める。 幼児のおやつ作りなどの実習を通して、幼児の生活への関心や意欲を高める。				
		2						
		3						
	5	4	子どもにとっての家族を考えよう。					
		5						
		6						
6	7	幼児との触れ合い						
	8							
	9							
2 学期	9	10	幼児の心身の発達の特徴を知ろう。 幼児との関わり方を工夫しよう。	幼児の心身の発達の特徴を知る。幼児にとっての遊びの大切さを理解する。基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の習得について知識を得る。 幼児の成長を知るとともに、成長に合わせた遊び、関わり方を工夫できるようにする。				
		11						
		12						
		13						
3 学期	1	14	わたしたちの消費と環境 消費生活について考えよう。 環境への影響を考えよう。	さまざまな販売方法や支払い方法があることを知り、それぞれの特徴を理解する。消費者を取り巻く問題について知り、どのようなことに注意をすればよいか考える力を身につける。また、消費者に関する法律や権利などを学ぶ。 環境や資源に配慮した生活をするための課題を見つけ、実践することができる。				
		15						
		16						
	2	17	わたしたちのよりよい生活					
		18						
		19						
	3	20						
		21						
		22						
3 学期	1	23						
		24						
		25						
		26						
3 学期	2	27						
		28						
		29						
3 学期	3	30						
		31						
3 学期	3	32						
		33						
3 学期	3	34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

本年は、保育を中心に学習していきます。自分が幼かったころ、どのように生活していたかを思い出し、周囲の人々はどのように接してくれていたか振り返り、家族について見直してみましょう。そして2年間を通して、家庭科で学習してきたことを今後実践できるよう、行動力などを身につけていきましょう。